

東京都中央区は築地周辺の市場本体移転後のにぎわい維持へ、てこ入れを図る。築地場外市場に新設する商業施設の名称をこのほど「築地魚河岸（うおがし）」に決め、出店概要も固めた。2016年夏にも開業する予定。京橋地区に観光拠点を設け、銀座・築地地域の魅力のPRにも力を入れる。来年11月7日の豊洲市場（江東区）開場を前に、「築地ブランド」の再構築につなげる。

「場外市場は築地に残ります」。場外の飲食店や鮮魚店などからなる築地場外市場商店街振興組合は周知に余念がない。

築地にぎわい守れ

中央区、来夏にも場外に「新市場」



「築地魚河岸」は場外市場の中心となる（完成イメージ）



築地場外市場は訪日外国人客にも人気（中央区）

食のプロ・訪日客に照準

市場本体が移転すると、場外市場も影響を受けるとの懸念は強い。集客のけん引役と期待するのは、中央区が仲卸業者などと整備する商業施設だ。

名称は「築地魚河岸」。市場本体が移転すると、場外市場も影響を受けるとの懸念は強い。集客のけん引役と期待するのは、中央区が仲卸業者などと整備する商業施設だ。

ント開催などを想定し、約2000平方メートルの広場を設けるほか、多目的ホールも用意する。晴海通りから広場に直通するエスカレーターも設置し「人の流れを引き込む」（区）狙いだ。

場外市場の近くでは昭和初期に建てられたが戦災による焼失を免れた木造建築群も内外から評価が高い。米国の非営利団体が再開発による喪失を危惧し、このほど「危機遺産」リストに加えた。

リスト入りを契機に、歴史的な街並みが観光資源として注目を集める可能性がある。

主要ターゲットは訪日外国人客だ。ブランド品などを購入する客らでにぎわう銀座に近い特性を生かし、地域一帯へどう誘客を広げるかも課題になる。中央区は16年に京橋2丁目で「観光情報センター（仮称）」を開設する方針を決めた。

案内表示の多言語化や公衆無線LAN（構内情報通信網）「Wi-Fi（ワイファイ）」などの情報環境の整備も検討していく。

中央区の矢田美英区長は「築地ブランドは国内外で高く評価されている。活気ににぎわいを継承するまちづくりに取り組む」と強調する。